



平成22年 3月26日

報道機関各位

顔画像性別年齢推定ソフトウェアを開発

～ セキュリティ市場で実績評価された顔認証技術を応用 ～

グローリー株式会社

姫路市下手野一丁目3番1号

TEL(079)297-3131

代表取締役社長 西野 秀人

資本金 128億9,294万7,600円(発行済株式数6,983万8,210株)

従業員数 3,540名

【概要】

この度弊社は、電子看板(デジタルサイネージ※1)などでの利用を目的にした、看板視聴者の年齢や性別を顔画像から瞬時に推定し、マーケティングなどに利用できる顔画像性別年齢推定ソフトウェア「ISG-501」を開発し、4月1日より販売を開始いたします。

昨今、広告媒体として、プラズマや液晶などの薄型表示パネルを使用した電子看板が、普及し始めております。電子看板は表示させるコンテンツがデジタルデータであるため、場所や時刻などに応じてコンテンツを変更することで、従来の看板に比べ高い広告効果が得られます。さらに表示するコンテンツを看板視聴者の年齢・性別に応じて切り替えることができれば、より一層の広告効果の向上が図れます。

この度開発の「ISG-501」は、瞬時に看板視聴者の顔を分析し、年齢と性別を認識する事が可能といたしました。

「ISG-501」は、2台のカメラを用いて、より広範囲に看板視聴者の顔を正確に検出可能で、年齢、性別の他、身長なども考慮したコンテンツを瞬時に表示する事ができます。

弊社は、2005年に顔認証技術を実用化し、セキュリティ性を重視される分野へ約700セットを出荷し、導入されたお客様より高い評価をいただいております。弊社が持つ通貨を認識・識別するコア技術から独自に開発した顔認証技術を「ISG-501」にも応用することで、高い精度※2を実現いたしました。

今後弊社では、様々な分野において、顔認証技術を応用した製品を開発し、安全で安心な社会の実現に貢献してまいります。

※1. デジタルサイネージ(Digital Signage=電子看板)とは、ネットワークに接続したディスプレイなどによって映像や情報を表示するデジタル技術を活用した広告媒体の総称。表示するコンテンツを通信機能により遠隔操作で瞬時に変更でき、多様な情報を発信できる。

※2. ディスプレイに顔を向けてから、約1秒以内に推定し、推定精度は年齢正解率(±10歳)85%、性別正解率95%を実現しています。本ソフトウェアは当社が独自に開発した高い精度の顔認証アルゴリズム「多重変動分析法による局所特徴比較方式」を応用したもので、顔画像データから本人を特定し認証するための特徴を取り去ることで、年齢や性別の特徴だけが残り、そのデータから年齢と性別を推定しています。